欧州連合知的財産庁（EUIPO）、
デザインが購買行動に与える影響に関する調査結果を公表

2026 年 6 月 11 日
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州連合知的財産庁（EUIPO）が 2026 年 6 月 10 日に公表したプレスリリースによれば、製品デザインは EU における消費者の購買意思決定において重要な要素であり、72%が購入時に重視し、31%が「非常にまたは極めて重要」と回答した。また、73%が優れたデザインに対して追加支払いを容認しており、デザインが購買行動に具体的な経済的影響を与えていることが示された。

特に若年層でその傾向が強く、18～24 歳の 80%がデザインを重要視している。分野別では家具（76%）および衣類・アクセサリー（66%）で重視度が高く、価格や品質が主要要因である中でも、デザインが消費者選好の形成に影響を与えている。また、EC や SNS の普及を背景に模倣品の流通も拡大しており、EU では 13%の消費者が意図的に模倣品を購入（15～24 歳では 26%）しているとされる。経済的損失は、衣料分野で年間約 120 億ユーロ、バッグ・宝飾・時計で約 27 億ユーロに上る。

EUIPO は、こうした状況に対し意匠保護の重要性を強調しており、デザイン集約産業が EU の雇用（約 2800 万人、約 13%）および GDP（16%以上）に大きく寄与していることを指摘する。また、意匠登録を行う中小企業は売上および賃金が高い傾向（売上約 30%増、賃金約 25%増）にある一方、権利を保有している中小企業は約 1%にとどまっている。EU 意匠制度は、単一出願により 27 加盟国全域で効力を有し（出願手数料 350 ユーロから、最長 25 年保護）、近年の法改正により手続簡素化やアクセス性向上が図られている。

－ EUIPO のプレスリリース等は、以下参照 －

（プレスリリース）
https://euipo.europa.eu/tunnel-web/secure/webdav/guest/document_library/contentPdfs/about_euipo/press_releases/PR_Design_campaign_2026_PAN-EU_en.pdf

（ニュースリリース）
https://www.euipo.europa.eu/en/news/design-sells-3-in-4-eu-consumers-willing-to-pay-more-for-better-designed-products

（ファクトシート）
https://euipo.europa.eu/tunnel-web/secure/webdav/guest/document_library/observatory/documents/sprincampaign_2026/EUIPO_Factsheet_Design_perception_2026_en.pdf

－ EUIPO に関する欧州知財ニュースは、以下参照 －

- EUIPO、2025 年の商標・意匠出願の総計が過去最多を更新（2026 年 1 月 27 日）（PDF）

以上